# 平成 30 年度　研究成果報告書

## Research Achievement Report FY2018

| | |
|---|---|
| 講座名・職名<br>Course Title・Job Title | アジア II 講座・助教 |
| 氏名　Name | 日向　伸介 |
| 専門分野 Academic Field | タイ近現代史 |

| | |
|---|---|
| 主たる研究テーマ<br>Principal Research Subject | 近現代のタイにおける政治と文化 |

平成 30 年度の当初計画として、以下の 4 点をあげた。

①ラーマ 5 世王治世期（1868～1910 年）における創設期のバンコク国立博物館史について論文執筆
②第一次世界大戦による国際関係の変化がタイの文化政策に与えた影響について論文執筆
③冷戦がタイの都市文化とセクシュアリティに与えた影響について口頭発表
④国策紙芝居をはじめとする戦時児童文学に描かれた山田長政像について口頭発表

①については、資料調査を進めることはできたが、論文執筆と投稿には至らなかったので、次年度の課題としたい。
②については、京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科の発行する学術誌『アジア・アフリカ地域研究』に投稿し、「近代タイにおける考古学行政の導入過程：第一次世界大戦と「古物調査・保存に関する布告」（1924）を契機として」と題する論文の年度内掲載が決定した。
③については、台湾でおこなわれた「A Workshop on LGBT Politics in Southeast Asia and Japan」にて、「Pattaya Entertainment District: A History of Cold War, Tourism and Sexual Diversity in Thailand」と題する英語口頭発表をおこなった。
④については、大東文化大学でおこなわれた「日タイ言語文化研究会」にて、「描かれる山田長政：国策紙芝居資料（1942）解題を中心として」と題する口頭発表をおこなった。

以上のとおり、平成 30 年度は当初の研究計画に対して、概ね計画通り研究を進めることができた。